

♣グリーン電力出資金出資者
♣グリーンコープでんき利用者 の皆様

グリーンコープでんき通信 VOL.49

2021年10月25日発行
一般社団法人グリーンコープでんき



一刻も早く、脱炭素社会の実現へ!!

<カーボンニュートラル>

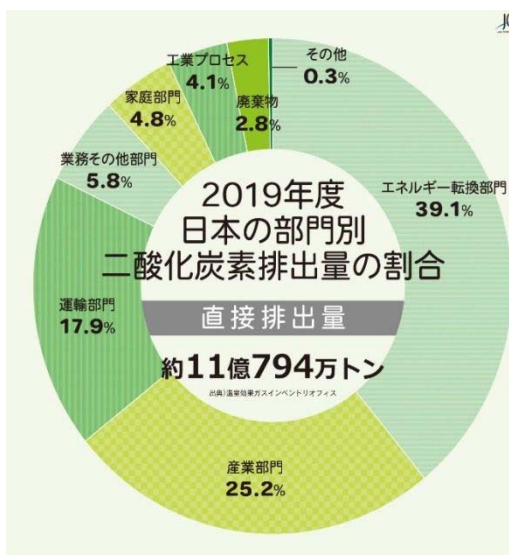
～気候変動による異常気象は地球の悲鳴～

2021年のノーベル物理学賞を米・プリンストン大上席研究員の真鍋淑郎さんが受賞したという報道がありました。受賞理由は「気候と地球温暖化の予測に関する物理モデルへの貢献」ということで、地球科学が自然科学分野のノーベル賞を受賞するのは極めて稀(まれ)だそうです。真鍋さんは、1960年代から二酸化炭素濃度の上昇が地球表面の温度上昇にどのように影響するのかという研究を続け、その予測モデルを開発した先駆者ということです。

地球温暖化対策が喫緊の課題となっている今、非常にタイムリーであり、同時に差し迫る危機に真剣に向き合わなければならないことを改めて考えさせられます。

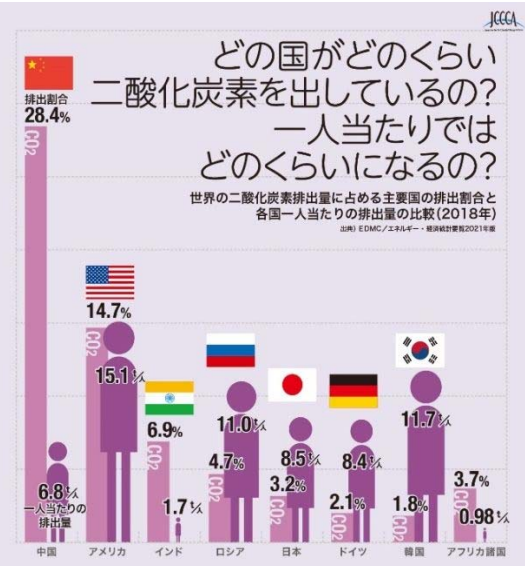
真鍋さんは、「日本でも大洪水や崖崩れが頻繁に起き、同規模の台風でも雨量が増えている」、また、「アフリカなどでの干ばつによって難民が生じ、紛争につながるのではないか」との懸念も示しています。「温暖化は単に気候や環境の問題ではなく、生活や政治の問題になり、社会活動に大きな影響を及ぼすようになった」と指摘しています。

温暖化問題は、地球に生きる一人ひとりが自分のこととして考えなければならないことです。その一つとして私たちにできることが、「電気を選ぶ」ことです。グリーンコープでんきは、CO2を排出する石炭火力などの電気はもちろん、放射性物質という猛毒を排出する原発の電気も使っていません。



CO2排出源はエネルギー転換部門が一番多いので、電気を選ぶことがとても大事になってくることだね。

それと日本は、一人当たりのCO2排出量が世界で4番目。こんなにCO2を出していることを知らないといけないね。



出典) 国立環境研究所「温室効果ガスインベントリオフィス」

出典) EDMC/エネルギー・経済統計要覧 2021年版

～気候変動対策・脱炭素(カーボンニュートラル)社会へ！～ 2030年に向けた「第六次エネルギー基本計画」が どのように決まるのか、注視しましょう。

パブリックコメントで国民の意見を反映？

政府は、2050年にカーボンニュートラル社会を実現するという方針を宣言しました。それに向けて、エネルギー政策の見直しがすすめられており、7月21日に2030年に向けた「第六次エネルギー基本計画素案」が資源エネルギー庁から発表されました。全126ページにわたる内容となっています。

その策定に向けては、9月3日から10月4日まで、意見の募集(パブリックコメント)が呼びかけられました。こうした国の政策に対し意見を出せるのは貴重な機会であるとともに、国民による闊達な意見交換によって策定されることを望むばかりです。

グリーンコープからも原発のない社会の実現をめざして、エネルギー政策に反映してほしいことを意見として届けることができるように理事会を通して組合員へも案内しました。

エネルギー基本計画案の概要について

エネルギー基本計画の章立の構成は、以下のようになっています。

はじめに

～気候変動問題への対応～

～第六次エネルギー基本計画の構造と2050年目標と2030年目標の関係～

1. 東京電力福島第一原子力発電所事故後10年の歩み
2. 第五次エネルギー基本計画策定時からの情勢の変化
3. エネルギー政策の基本的視点(S+3E)
4. 2050年カーボンニュートラル実現に向けた課題対応
5. 2050年を見据えた2030年に向けた政策対応
6. 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた産業・競争・イノベーション政策と一体となった戦略的な技術開発等の推進
7. 国民各層とのコミュニケーションの充実

その内容に関して、市民団体や市民系シンクタンク、経済団体等から全体的な側面や各項目の細部に亘って、さまざまな声が出されています。

概括的に見て、地球規模の気候変動への対策が待ったなしという、切迫感が感じられない流れになっているように読めます。本来なら画期的な改革案が示されてもいいと思われませんが、「カーボンニュートラルの宣言」というお題目を唱えただけという感じです。

また、各章を見ても総花的に書いているだけのように感じられます。CO₂削減のため、「石炭火力はゼロ」という意志もなく、これまでと代り映えがしない内容になっています。

この中で、グリーンコープにとって重要なところは「原子力」で、原発事故を経験した日本として、原発とどう向き合うのか、問われていると思います。それに未だ原発事故は収束しておらず、かかる費用も巨額です。決して、未来に遺してはいけないものです。

原子力に頼っている日本のエネルギー政策？

グリーンコープとしては、原発に関することで、脱原発社会を実現するという視点から、エネルギー基本計画を見てみると、原発事故を経験した当事国でありながら、反省は文字面だけのようには感じられません。

原発に関しては、「エネルギー基本計画」の「5. 2050年を見据えての2030年に向けた政策対応」の中に「(6) 原発政策の再構築」があり、項目は以下のとおりです。

(6)原子力政策の再構築

- ①原子力政策の出発点—東京電力福島第一原子力発電所事故の真摯な反省
- ②原子力利用における不断の安全性向上と安定的な事業環境の確立

③対策を将来へ先送りせず、着実に進める取組

(a)使用済燃料問題の解決に向けた取組の抜本強化と総合的な推進

(ア)高レベル放射性廃棄物の最終処分に向けた取組の抜本強化

(イ)使用済燃料の貯蔵能力の拡大

(ウ)放射性廃棄物の減容化・有害度低減のための技術開発

(b)核燃料サイクル政策の推進

(ア)再処理やプルサーマル等の推進

(イ)中長期的な対応の柔軟性

④国民、自治体、国際社会との信頼関係の構築

これらの項目を見ただけでも、原子力については何ら変わっていない、反対に使用済燃料の再処理や核燃料サイクルの推進など、これまでより原子力が強化されているようにも見えます。高速増殖炉もんじゅの中止で核燃料サイクルはすでに破綻しています。しかも、「2007年に本格稼働」と打ち上げ、以降失敗続きの六ヶ所再処理工場も本来ならストップすべきですが、推進するという方針のようです。さらに、老朽原発の60年運転という長期運転も検討されるようです。

さらに「廃炉廃棄物の海外輸出」を可能にするような見直しが記載されているのも気になります。

電源構成、再エネは50%以上に！！

第六次エネルギー基本計画案では、電源構成として「再エネ36～38%。原子力20～22%、LNG20%、石炭19%、石油等2%、水素・アンモニア1%」となっています。

電源としての水素・アンモニアは、有望株ではあると思いますが、コスト的には現在は100円/Nm³、2030年に30円/Nm³になると試算されています。これが本当に汎用的な電源として実用化されることになるのか、懐疑的な意見もあります。

中でも深刻に受け止めないといけないのが、「石炭19%」となっていることです。気候

変動が深刻化する中で、本当にこれでいいのでしょうか。次のように発言している専門家があります。「30%程度の変動型再エネに対する電力システムの柔軟性は、LNG火力や揚水発電、蓄電池、需要側調整及び電力市場で十分に対応することができる」。

世界的なインセンティブは整ってきている、あとは英断するだけのことだと思われれます。地球が危機的状況にあることを真摯に受け止め、本気で温暖化対策を講じるエネルギー政策であってほしいものです。

2050年のカーボンニュートラル社会の実現は、再エネ100%を目標に実現に向かえるかもしれません。世界的に急成長をしている太陽光発電と風力発電はコストも急落、経済的にもエネルギー転換の主役になってきていると言われています。そうした世界的な視点で再エネをとらえると、2030年の再エネの電源構成は50%以上にできる可能性はあるのではないかと思います。

原発事故の反省の上に立つと、「原発はゼロ」に！

最後に、原発の電源構成が20～22%となっていることに関して、第5次エネルギー基本計画と同様の数字となっています。現状を考えると無理な数字と感じますが、その背景に既存原発の再稼働と長期運転への動き、そして、新型原子炉の新設などが射程になっているということが考えられます。

このエネルギー基本計画は、まるで失った「原子力の安全神話」の再構築のように思えてきます。しかし、原発が排出する放射性物質はCO₂などの温室効果ガスと同様に忌避すべき対象として、グリーンコープは「原発ゼロ」社会、「カーボンゼロ」社会の実現をめざしていきたいと考えます。

原発のない社会をめざして
がんばろう！



■グリーンコープでんき

- 9月にグリーンコープでんきを供給した契約件数は、GC事業所、組合員契約件数、GC商品のお取引先も含め下表のとおりです。

生協名	GC事業所 契約件数	組合員 契約件数	契約容量 (kW)
しがまる生協	1	0	4
GC生協おおさか	8	56	271
GC生協ひょうご	9	35	181
GC生協とっとり	2	46	216
GC生協(島根)	1	95	405
GC生協おかやま	6	144	614
GC生協ひろしま	9	174	798
GCやまぐち生協	5	501	2,133
GC生協ふくおか	102	2,006	8,908
GC生協さが	17	116	692
GC生協(長崎)	11	227	1,144
GC生協くまもと	40	551	2,870
GC生協おおい	15	311	1,345
GC生協みやざき	2	152	559
GCかごしま生協	12	213	949
単協計	239	4,627	21,085
(一社)グリーンコープでんき(低圧)	55		404
(一社)グリーンコープでんき(高圧)	64		5,003
総合計	358	4,627	26,492

■9月の電源構成

【関西電力エリア】

- ・敦賀グリーンパワー
(燃料:バイオマス)・・・97.6%
- ・家庭用太陽光発電・・・2.4%

【中国電力エリア】

- ・敦賀グリーンパワー
(燃料:バイオマス)・・・97.3%
- ・家庭用太陽光発電・・・2.7%

【九州電力エリア】

- ・敦賀グリーンパワー
(燃料:バイオマス)・・・97.6%
- ・家庭用太陽光発電・・・1.5%
- ・杖立温泉熱バイナリー・・・0.5%
- ・馬洗瀬小水力発電所・・・0.4%

※グリーンコープでんきは、電源となっている発電所をすべて特定しています。

※グリーンコープでんきの電源には、原発由来の電気は一切含まれていません。

■市民発電所

一社)グリーンコープでんきの各発電所の2021年8月～9月までの実績です。

《発電・売電実績》

・発電量は前年実績比 82.0%でした。

・売電料は前年実績比 82.2%でした。

《出力制御について》

8月・9月の、出力制御指示日は神在太陽光発電所と深年太陽光発電所、共に9月19日(日)8:00～16:00の1日でした。

2021年8月9月発電量

発電所	出力(kW)	発電量(kWh)	売電額(円)
神在太陽光発電所	1,057	215,620	8,624,800
平池水上太陽光発電所	1,260	242,284	8,722,209
深年太陽光発電所	1,550	287,666	10,355,987
若宮物流センター	47	3,493	125,756
広島物流センター	47	6,435	351,841
やまぐち西部地域本部	54	19,721	631,053
グリーン未来ソーラ(10箇所)	244	74,740	1,569,539
合計	4,259	849,958	30,381,185

■グリーン電力出資金

・皆さんから出資いただいたグリーン電力出資金の総額(実際に振り込んでいただいた額)は、9億7,728万円になっています。

・出資目標額(積立目標額)は、9月27日現在11億486万円になっています。

生協名	申込人数	申込件数	出資目標額
GC生協おおさか	195	220	16,570,000
GC生協ひょうご	87	102	7,676,000
GC生協とっとり	128	140	10,640,000
GC生協(島根)	231	243	10,980,000
GC生協おかやま	142	157	13,520,000
GC生協ひろしま	666	804	83,527,000
GCやまぐち生協	553	642	41,300,000
GC生協ふくおか	5,254	6,123	520,942,000
GC生協さが	310	353	44,425,000
GC生協(長崎)	561	626	56,639,000
GC生協くまもと	1,443	1,653	123,714,000
GC生協おおい	758	847	68,478,000
GC生協みやざき	276	313	26,165,000
GCかごしま生協	704	812	80,291,000
合計	11,308	13,035	1,104,867,000

・グリーン電力出資金は、市民発電所の建設費に充てられています。

・2021年9月末支出総額は8億4,881万円で、残高は1億2,891万円となっています。市民発電所の建設は継続して調査や検討をすすめています。

これまで出資いただいた金額	977,728,500
これまで支出した事業と金額	848,810,221
神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、若宮物流センター、広島物流センター、やまぐち西部地域本部、グリーン未来ソーラ発電所、豊浦太陽光発電所、馬洗瀬小水力発電所、杖立温泉熱バイナリー発電所、ながわ小水力発電所(建設中)、霧島太陽光発電所、熊本菊池太陽光発電所、国東第二自然電力太陽光発電所	
グリーン電力出資金の残高	128,918,279

いよいよ
本案論議へ

「グリーンコープでんき託送料金訴訟」 第5回口頭弁論・報告集会のご案内

【日時】 2021年12月13日(月)11時～

【場所】 福岡地方裁判所 101号法廷

※コロナ禍で傍聴席は最大40名程度と制限されています。傍聴者多数の場合、先着順もしくは抽選となることがあります。予めご了承ください。

【報告集会】法廷終了後、弁護士会館で報告集会を開催する予定です。